

2015 年 6 月 9 日

第 1 4 回上田市公共交通活性化協議会 第 1 4 回上田市地域公共交通会議 分科会議事録  
90 分

**事務局より 上田市政策企画部交通政策課 藤澤課長 以下 藤澤課長**  
今回は非公開で行いたい。皆様いかがでしょうか。

**長野県タクシー協会 飯島副会長 以下 タクシー協会 飯島副会長**  
タクシー協会といたしましては、公開でお願いしたい。

**藤澤課長**  
他の皆様いかがでしょうか。

異議なし

**藤澤課長**  
公開にて開催。

**会長あいさつ 上田市政策企画部部長 金子会長 (以下 金子会長)**  
先日の公共交通活性化協議会総会で、このまちなか循環バスについて、分科会で詳しい討議をするということで皆様のご意見を賜りたい。まちなか循環バスは、中心市街地の地域の住民の皆様への足の確保、特に中心市街地に自家用車をいれないということで、公共交通機関を利用して移動してもらいたいということで、土日祝日を中心に運行を考えている。  
なお、分科会のメンバーは決まっていないが今回は、バス事業者、タクシー事業者、地域の婦人団体、障害者の方、自治会連合会の代表のみなさんにお集まりいただきましたことご承ください。では早速、議論を始めたいと思うが、タクシー協会のご意見はいかがか。

**長野県タクシー協会上小支部 中島支部長 以下 タクシー協会 中島支部長**  
市街地のタクシー 8 社で意見を集約した。協議会でも述べたが、まちなか循環バスは、観光を主目的として、運行するのではないか。また、運行ルートはどのように設定したのか。小型バスを新たに導入するというが、千曲バスの委託事業となるのか。

**藤澤課長**  
土日祝日を中心とした運行については、以前からの課題となっていた土日祝日の中心市街地の交通混雑を避けるため、公共交通機関利用してもらうため、設定している。運行ルートについて、試験運行したところ、混雑時には、渋滞するルートもあり、より多くの皆様にご利用いた

だくために設定させていただいた。

10 月から千曲バスに業務委託し、運行を開始したいと考えている。半年間は千曲バスの車両で運行し、来年 4 月からは、市の新型車両で運行したいと考えている。

**タクシー協会 飯島副会長**

年間運行日は幾日か。

**藤澤課長**

運行日は、平成 27 年 10 月から平成 28 年 3 月まで 91 日、平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月まで 213 日の運行予定です。

**タクシー協会 飯島副会長**

平日も運行するのか。

**藤澤課長**

土日祝日を基本的として、3 月下旬から 5 月上旬までの期間は、平日も運行する。その他にも期間によっては平日も運行する。

**金子会長**

まちなか循環バスの運行間隔が 30 分で運行する理由はなぜか。またバス停留所「海野町」などで通行止めになった場合はどうなるのか。

**藤澤課長**

運行間隔が 30 分の理由は、住民の移動を考えると、利便性が高く、また 26 分程度の運行を予定しており、その点も考慮して、バス 1 台で運行することもあり、30 分と設定させていただいている。

**千曲バス株式会社 三浦部長 以下 千曲バス 三浦部長**

海野町が通れない場合は、鷹匠町経由となる迂回ルートで運行することになる。

**金子会長**

市街地循環バス（青バス、赤バス）は何分間隔で走っているのか

**千曲バス 三浦部長**

約 2～3 時間に 1 本のペースで運行している。

### **金子会長**

市街地循環バス（青バス、赤バス）は旧上田市を走っているが、運行間隔が長いことが要因でなかなか利用客が増えないこともあり、まちなか循環バスでは思い切って運行間隔を30分に設定した。

### **タクシー協会 中島支部長**

広報うえだ3.1号にてカラーページでまちなか循環バスのPRを行っていたが、あれは観光目的のとは思えない。そのあたりはどうなのか。

### **藤澤課長**

観光客の移動手段もひとつであるが、市街地の活性化を図ることが主目的として運行する予定。

### **タクシー協会 飯島副会長**

※広報うえだ3.1号読み上げる。ここに出てきたものが今回のそれと合致するため観光目的ではないのか。また、循環バスのルート上を見ても買い物するお店あるいは病院が停留所近くに見当たらない。あるのは観光施設ではないか。

### **藤澤課長**

観光客の移動手段の一つではあるが、今回のルートは何度も申し上げたが中心市街地の活性化ならびに地域住民の足の確保であることは変わらない。今後観光客が増えてくるが、どの路線バスにも言えるが観光客が乗らないということはない。生活交通というバスについても観光客にも乗っていただいて利用促進をはかる。ルート上の病院等に関しては中心市街地をコンパクトに回るため限られてくるが小さい病院はある。土日祝は休診日のところもあるので買い物がメインになるのではないか。

### **上田婦人団体連絡協議会 小宮山会長**

市民、利用者の立場で意見を述べたい。高齢者になると年金生活となり、買い物弱者が問題化している。まちなか循環バスのように1乗車100円で買い物に行けることはありがたい。また青バス、赤バスと違い運行間隔が30分というのも利用しやすいと思う。また、まちなか循環バスが市街地活性化のきっかけになれば、良いと思う。

### **上田自治会連合会（上田地域代表） 高野氏 以下 上田地域代表 高野氏**

まちなか循環バスは、これからずっと先まで続く路線なのか。

### **藤澤課長**

当面は継続運行していきたい。

#### **上田地域代表 高野氏**

住民が自家用車の乗り入れをしないことを考えるかは疑問。中心市街地へ乗り入れを制限するのは難しいと思う。大河ドラマの影響の混乱を避けるのであれば期間限定でもよいのではないか。まちなかの活性化をするに当たり利用する方が活性化を訴えてもそれに賛同する事業者がいないと活性化にはならないのでは。

#### **金子会長**

上田市内に駐車場が少ない。市で思い切って、長野市のご開帳の時にもやったが、交通誘導計画を作らないと市街地、特に日曜日に車が動かなくなる。上田市で誘導計画を作成し住民の皆様にご理解をいただきながらご協力を賜らなければならない。上田市にとって初めての事例であり、大河ドラマの影響でどのくらいの観光客が訪れるか未定だが、一番恐れているのは駅～南北へ行く道が動かなくなる。また大型商業施設もあり普段の土日でも混雑している。さらに観光客の自家用車が乗り入れることでより一層渋滞することが予想される。今回の循環バスに観光客が全く乗らないということはない。地域住民の皆様は主体的にまちなかに出てきていただきたいという思いもある。観光客、地域住民の方たちの有効な移動手段として活用したい。

#### **上田地域代表 高野氏**

中心市街地に車を入れない方法としての考えがあるのは分かった。

#### **金子会長**

観光客の車が町の中に入らないようにしないとならない。外からシャトルバス等で連れてきて移動は循環バスに乗っていただく。

#### **上田地域代表 高野氏**

中心市街地の方も不便さを感じないように動ける環境を作るということでよろしいか。

#### **千曲バス株式会社 三浦部長 以下 千曲バス 三浦部長**

市街地循環バスについては、中心地だけではなく広域の方も利用できる設定している。時間的に1.5h。コンパクトな路線で生活交通として設定にさせていただいている。中心市街地の利便性が確保されると、車庫から車を持ち出すときに現在の路線バスもスムーズに持ち出しができる。

#### **上田バス株式会社 舟見常務**

多くの方が訪れ、まちなか循環バスが上田駅を通ることで、タクシーや路線バスの需要も増えることが予想され、それが生活交通の助けになると思う。

#### **上田市身体障害者福祉協会 中澤女性部長**

障がい者は、車やバスが無ければどこにも行けない。運行間隔が 30 分位なら、乗り遅れても待ってられるので、運行間隔が短くて良いと思う。

#### **金子会長**

運賃低減バスの時にタクシー協会よりご要望があるとお聞きしているが、再度お考えをお聞かせください。

#### **タクシー協会 中島支部長**

運賃低減バスの時もそうだったが、今回のまちなか循環バスについてもバスが安くなるとタクシーの利用者が減る。現に菅平、鹿教湯方面へ行く方でタクシーを利用する方が減っている。その中で、循環バスを新設されることに恐怖感がある。会社的に重大なことになることだってあり得る。同じ公共交通機関としてうまく住み分けをして行ければよい。協議しながら二次交通としてお互いが役割をしっかりと担いたい。要望としては、運賃低減バスの時には、路線から外れている部分の足に困っている利用者に対して補助券を出してくれと述べさせていただいた。今回のまちなか循環バスについても同様の要望をする。

#### **タクシー協会 飯島副会長**

タクシーの特徴は、ドアツードアである。上田市の狭い道路事情でも小回りが利いて利便性がある。運賃の問題は、全国的に見てもタクシー事業者への補助はない。そこでバスと差がついてしまう。海野町の商店街は現在シャッターが閉まっているところが多い。また、タクシーを使って買い物に行くのではなく利用者にメモを渡され買い物代行を行うこともある。ある程度動ける人がバスに流れてしまう。乗務員の生活が確保できるかが切実な思いである。

#### **金子会長**

国交省が認可してくれれば、料金を下げることも可能なのか。

#### **タクシー協会 飯島副会長**

タクシー振興により準指定地域になっているので不可能。

#### **金子会長**

台数を減らさなさいと言っている地域指定されている地域で運賃下げることは無理なのか。

**タクシー協会 飯島副会長**

無理です。

**金子会長**

公共交通は、バスだけではなくタクシーもございますのでこの点をどうやって考えていくかが重要な点である。料金が高く気軽に乗れないとなるがバス停まで歩けない方にとってはタクシーで移動するのが現状である。

**上田地域代表 高野氏**

今回のルートは、重複していなかったのか。

**藤澤課長**

一部重複している。全くダブらない部分については、お城下～市営球場～体育館前～公園北、イオンの坂～上田駅までは重複していない。

**上田地域代表 高野氏**

地域の人たちの要望もルートに入れられたら良いのではないか。基本的には賛成。

**金子会長**

路線については10月からと考えているが、先行してやってみて皆さんの声を聴きながら修正点があれば次の段階で変更していければよいと考えている。タクシー会社のご要望の点は重々承知している。今後話し合いしながら方向性を出して行ければと思っているので、まちなか循環バスを考えていただきたいのですがよろしいですか。

**タクシー協会 中島支部長**

タクシー会社8社の意見集約を持ってきた中で、観光目的なら議案から外してほしいと思っていた。一番懸念しているのはタクシー利用者が減ること。市街地の活性化の中で、バスやタクシーを主体的に使っていただく仕組みを今後作っていただけるとよい。

**金子会長**

観光が主目的ではないが、観光客も乗ると予想している。8社の方ご意見を賜らなければならぬが他の皆様は賛成ということではよろしいか。

**上田地域代表 高野氏**

何人乗りのバスなのか。

**柳沢係長**

36人乗りです。

**タクシー協会 中島支部長**

訓練所センターからの一方通行の道は大丈夫か。

**柳沢係長**

実地もしているので問題ない。警察、保安委員会も問題ないと確認している。

**タクシー協会 中島支部長**

車幅はどのくらいか

**藤澤課長**

幅 2.1

**金子会長**

10月から運行するには、先の総会で審議した地域内フィーダー系統に載せないと国交省から認可が下りないのでよろしいか。

**タクシー協会 飯島副会長**

将来に向かっての展望は開けてきたが、タクシー協会としては、賛成は致しかねる。

**金子会長**

他の方は、賛成ということでよいか。決は採らないが、10月から運行するということがよろしいか。また、タクシー会社とは親密に今後の方向性を検討していきたい。

会長お礼

閉会

タクシー 中島 60分

タクシー

会長

議題

- (1) 上田市公共交通活性化協議会協議事項について